

平成 22 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ラックランド
 代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
 (コード番号 9612 東証 2 部)
 問合せ先 常務執行役員管理本部長 天明 恒男
 (TEL:03-3377-9331 (代表))

第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 22 年 2 月 12 日に公表しました平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)と本日公表の同期間の実績値に下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。

なお、平成 22 年 12 月期通期連結業績予想につきましては、本日公表の第 2 四半期決算短信に記載のとおり従来の予想からの修正はありません。

記

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,014	88	88	50	6 85
実績値 (B)	6,076	9	25	148	20 30
増減額 (B－A)	61	△78	△62	98	－ ー
増減率 (%)	1.0	△89.1	△70.8	196.3	－ ー
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	5,639	△11	4	△114	△15 53

2. 差異の理由

(1) 売上高・営業利益・経常利益

当社グループは、今後を見据えた企業収益拡大のための経営戦略の一環として、継続的かつ定期的な受注が期待できる優良な新規顧客の開拓を推進いたしました。

この結果、売上高は、景気回復の基調を受けた既存顧客の設備投資意欲の着実な回復もあり、6 月引渡予定の大型案件 2 件の引渡延期がありましたが、予想を上回ることができました。

一方、営業利益及び経常利益は、優良な新規顧客との取引関係の構築に当たり政策的に低粗利受注を行ったことによる粗利率の低下を売上高の増額で補うことができたが、大型案件の引渡延期が影響し、予想を下回ることとなりました。

(2) 四半期純利益

四半期純利益は、上記の営業利益および経常利益の下方および特別損失(投資有価証券評価損)の計上はありましたが、特別利益(貸倒引当金戻入額)の計上により、予想を上回る結果となりました。なお、特別利益および特別損失の概要については、本日公表の「特別利益および特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上